

PDHA-1000
Sensor Gas Chromatograph

昇温脱離装置 水素分析装置

PDHA-1000

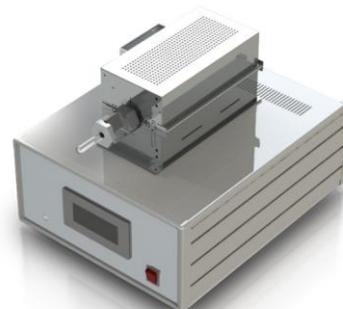
PDHA-1000は鉄などの金属固体材料中の水素を分析する装置です。

昇温脱離装置 (SDS-P1) で試料を昇温加熱し、発生する微量水素をセンサガスクロマトグラフ (SGHA-P2) で高感度に計測します。

センサガスクロマトグラフは、カラムにオリジナルショートカラム、検知器に高感度半導体ガスセンサを用いることにより、高速分離と高感度計測を実現した、弊社独自のガスクロマトグラフです。



センサガスクロマトグラフ(SGC)



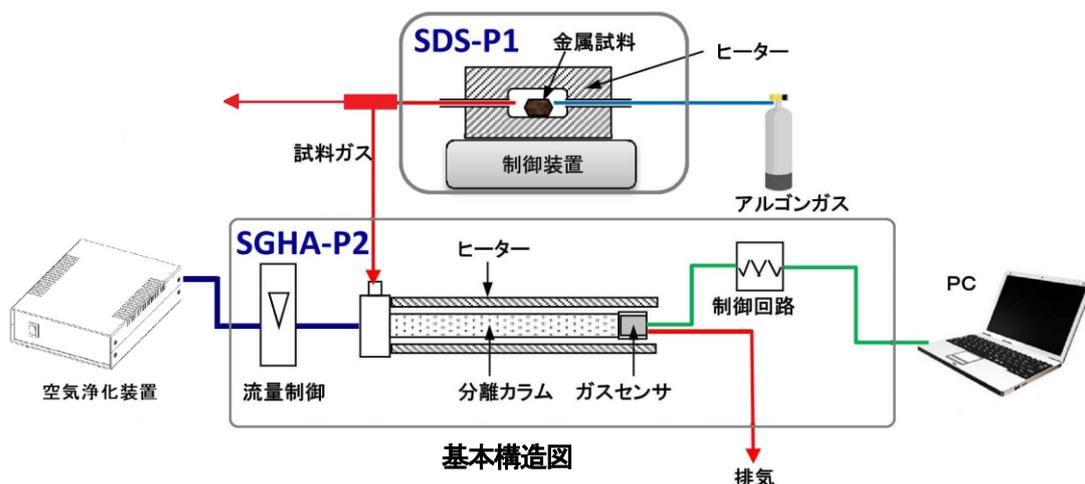
昇温脱離装置(SDS)

注：パソコンは付属品に含みません。

※ ご要望に応じてカスタマイズ致します。

主な特徴

- 半導体ガスセンサを使用した高感度計測 (10~10,000vol.ppb)
- 大気圧で作動 (真空引き、ベーキング不要)
- アルゴン、窒素の他、空気中でも計測可能
- 昇温範囲は室温~600℃、昇温速度は1~20℃/minの範囲で可変
- 計測周期は最短2.3分
- PCによる自動計測と演算結果のグラフ表示及びデータ保存機能
- 設置場所を選ばない小型サイズ (SGC：約B4サイズ、SDS：約A3サイズ)
- 高いコストパフォーマンスを実現



仕様：PDHA-1000

項目	内容
型式	PDHA-1000
計測方式	半導体ガスセンサを検知器としたガスクロマトグラフィー
測定対象ガス	水素
測定単位	ppb
測定濃度域	10~10,000vol.ppb ^(※1) (1分間の水素量： $1 \times 10^{-8} \text{cc} = 4.5 \times 10^{-9} \text{mol}$ から測定可能)
最小表示分解能	0.1vol.ppb
初期安定化時間	5~60分 ^(※2)
計測時間	最短計測周期 2分
試料ガス注入量	2cc/回
測定結果の表示	パソコンによる測定結果の表示 ^(※3)
測定方式	自動サンプリング装置によるガス注入方式
キャリアガス	SGHA：空気（水素フリー 流量固定） SDS：アルゴンガス、窒素、空気（0~100cc/min 流量可変）
試料設置空間	φ10×20mm
昇温範囲	室温~600℃の範囲で可変（1℃単位）
昇温速度	1~20℃/minの範囲で可変（1℃単位）
冷却法	炉解放による自然冷却
ソフトウェア	外付けPC（別売）による結果グラフ表示及びデータ保存
配管接続仕様	SGHA：φ4 継手（キャリア空気取入口） SDS：φ4 継手（アルゴンガスボンベ接続）
電源	AC 100V
消費電力	SGHA：約 40VA SDS：約 550VA
外形寸法/重量(突起部含まず)	SGHA：260(W)×135(H)×340(D) mm 約 6kg SDS：370(W)×330(H)×440(D) mm 約 13kg
設置場所	室内専用
使用環境	10~30℃ 80%RH 以下（結露なきこと）
保存環境	-20~60℃ 20~80%RH（結露なきこと）

(※1) ガスクロマトグラフ (SGHA-P2) のキャリアガス量に対する濃度。キャリアガス流量によって変動します

(※2) 機器の安定度により、自動的に時間調整します。

(※3) 専用の測定および測定結果解析プログラムが付属しています。(パソコンは含みません)

カタログに記載されている仕様及び外観は、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

お問い合わせ

2018年1月

NISSHA エフアイエス株式会社
〒664-0891
兵庫県伊丹市北園
3丁目36番3号

Tel : 072-780-1800
Fax: 072-785-0073
<http://www.fisinc.co.jp>

製品の改良等により、本カタログの記載内容は予告なく変更されることがありますのでご了承下さい。

PDHA-1000J180101V1